

南学区まちづくり推進委員会

委員長 佐藤 憲明

（問合せ先） 084-932-0374（南公民館）

●地域まちづくり推進事業●

事業内容

- (1) わくわくカフェ（6月22日、6月26日、12月14日、12月17日、2月8日）
- (2) 南学区新旧町名・史跡掲示板設置（3月26日）
- (3) 子ども会とんど火祭り（1月19日）
- (4) ふれあい広場・文化祭（10月27日）
- (5) 道三川の環境・美化活動（5月18日、6月2日、10月27日）
- (6) 寿会福祉活動（老人福祉大会老人スポーツ大会、10月20日）
- (7) 広報活動ほか（通年）
- (8) 人権啓発推進事業（住民学習会、9月24日～28日）
- (9) 児童安全推進事業（毎週1～2回）
- (10) 防犯活動事業（月2回土曜日）
- (11) 地域福祉活動推進事業（健康講座、9月25日）（11月10日、三世代交流ウォーク）
（シニアグラウンドゴルフ大会、12月21日、3月21日）
- (12) エバーグリーン事業（南小学校中庭芝手入れ、6月9日、10月13日）
- (13) 自主防災活動（全市一斉防災訓練、11月24日）
- (14) 環境・公衆衛生活動（7月、8月、9月）
- (15) 町内会活動の活性化事業（歴史講演会、7月7日）（28町内会テント更新）
- (16) まちづくり計画推進事業に基づく事業（ふるさと祭り、8月3日）



ふれあい広場文化祭



とんど火祭り

成果

家に閉じこもりがちな高齢者が、屋外競技グラウンドゴルフへ多数参加している。

また、学区内にある日本語学校の生徒・教師がふるさと祭りや住民学習会に参加したり、学区内で作成した防災関連パネルを校舎内に展示するなど、ふれあいの機会が少しずつ増えている。

課題

この数年「三世代交流ウォーキング」への子どもの参加が少ない。

各団体とも役員が高齢化し、早急な後継者選びが課題である。

歴史を振り返り、次世代へ繋ぐ

～水野勝成公入封から、戦後の復興・ばらのまちへ～

○（三月末）「南学区～史跡・新旧町名」パネル設置（まちづくり推進事業）

南学区は江戸時代、武士と町民が住んだ城下（町）と、農民が住んだ城下外（村）（その境は現在の道三川）から成り立っていました。職業や出身地にちなんだ町名などが有りましたが、1965年（昭和40年）の町名・町界変更によって、ほとんどが消えてしまいました。

みなさんに、歴史を刻んだ史跡と新旧の地名を是非見ていただきたいです。（下の写真）

（歴史の変遷）

（1619年）水野勝成公、福山入封

（※2022年「福山城築城400年」）

（1855年）阿部正弘公によって「藩校誠之館」が開校

（1908年）歩兵第41連隊、福山に転営

（※連隊区司令部・福山憲兵分隊が現在の聖園幼稚園、福山衛生病院が現在のJA福山の場所に設置）

（1913年）福山南尋常小学校開校（現在の南小学校）

（1916年）福山市市制施行

（1945年）福山大空襲、福山城天守閣などが焼失

（1947年）福山市立城南中学校開校

（1951年）南小学校第一校舎、火事で焼失、翌年新校舎完成

（1956年）ばら公園完成

（※戦後の荒廃から立ち上がるために「街に潤いを与え、人々の心に安らぎを取り戻そう！」と公園周辺の市民がばら苗1000本を植える）

（1966年）福山城天守閣再建、福山市市民会館落成

（1980年）福山市立南公民館完成

（1994年）道三川地区都市景観大賞受賞

（1994年）松浜町にリーデンローズ開館

（1995年）緑町にローズアリーナ開館

（2008年）霞町一丁目にローズコム開館



南小児童と家族による道三川清掃



南小児童による環境ポスター



南小中庭芝生の手入れ